



SEASON REPORT

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE
2023-24 SEASON



MISSION

革新と情熱で、 心躍る最高の感動をつくりだす

ラグビーの世界で、最高峰にチャレンジする。
フィールドの中でも、外でも、世界と対等以上に渡り合う。
そのために、
私たちにしかできないアイデアと熱量と想いを結束し、
「最高だと思える瞬間」「心躍る感動」を
つくり続けます。

静岡から世界を魅了する、 日本一の プロフェッショナルラグビークラブをつくる

静岡県を代表するクラブとして、
ファン・地域・パートナーとともに、
プレーのみならず、
ラグビーに関するすべての分野で世界最高峰に挑んでいきます。
「SHIZUOKA PRIDE」を胸に、
日本、世界で語り継がれる強く愛されるクラブを目指し、
ラグビー界を牽引します。

ご挨拶



静岡ブルーレヴズ株式会社
代表取締役社長

山谷 拓志

スタジアムに轟くGO! GO! REVS!!の大声援で選手を後押しいただきましたレヴニスタの皆様、日頃より多大なるサポートをいただいておりますスポンサー・サプライヤー・パートナーならびにメディア関係者の皆様、静岡県並びに県内市町の自治体関係者の皆様、試合運営にご協力をいただきましたジャパンラグビーリーグワン並びに静岡県ラグビーフットボール協会関係者の皆様、笑顔と熱意でホストゲーム運営にご尽力いただいたボランティアREVS CREWの皆様、共に戦った選手・チームスタッフ、会社を支えてくれた社員・スタッフ、そのご家族の皆様、そしていつもクラブや選手を支えていただいておりますヤマハ発動機の皆様、ご支援ご協力ご声援をいただきましたすべての静岡ブルーレヴズファミリーの皆様にご心より感謝を申し上げます。

ヤマハ発動機ラグビー部の創部から40周年となった今シーズンは、男子15人制日本代表ナショナルチームディレクターを務められた藤井雄一郎氏を新監督として迎え、事業・強化共に新たな組織体制でスタートし、クラブスローガンに「RevAmp」を掲げ、新たにより良くし更に成長していくこと目指しました。

来季は日本一に向けて着実にステップアップするシーズンにするべく、クラブの事業とチームの強化の両軸をより一層成長させていきたいと思っております。皆様のご期待にしっかり応えることができるチームづくりとホストゲーム運営を実現し、強く愛される世界一のプロラグビークラブを目指して参ります。

2023-24シーズンも皆様のご支援ご協力ご声援、本当にありがとうございました！

CONTENTS

ご挨拶	P2	Revsキャラバン・その他普及活動	P10
選手、チームスタッフ紹介	P3	ラグビースクール・アカデミー	P11
戦績・スタジアム紹介	P4	BlueRevs RFC SHIMIZU・AZALEA SEVENとの連携	P11
TEAM PLAYER TOPICS	P5	メディア露出・SNSの取り組み	P12・13
ホストゲーム観客数の推移・ レギュラーシーズン最終戦来場者数	P6	プロモーション活動・CLUB REVS会員数	P13
ホストゲーム・REVS CREW	P7	2023-24シーズン静岡ブルーレヴズ オフィシャルパートナー	P14・15
地域の連携活動・SCRUM Action	P8		
海外クラブとの連携・SCRUM Action実施報告	P9		



監督
藤井 雄一郎



キャプテン
クワッガ・スミス



バイスカプテン
庄司 拓馬



バイスカプテン
マロ・ツイタマ

2023-24 SEASON PLAYERS

(2024年4月26日時点)

 日本代表 6 Caps 伊藤 平一郎 Heiichiro Ito	 西村 颯平 Sohei Nishimura	 岡本 慎太郎 Shintaro Okamoto	 河田 和大 Kazuhiro Kawata	 台湾代表 3 Caps 郭 玫慶 Bunkei Kaku	 山下 憲太 Kenta Yamashita	 泓 城蓮 Joren Fuchi	 茂原 隆由 Takayoshi Mohara	 ショーン・ヴェーテ Sean Veta	 中山 律希 Ritsuki Nakayama
 日本代表 5 Caps 日野 剛志 Takeshi Hino	 植木 悠治 Yuji Ueki	 平川 隼也 Toshiya Hirakawa	 リッチモンド・トンガタマ Richmond Tongatama	 作田 駿介 Shunsuke Sakuta	 日本代表 5 Caps 大戸 裕矢 Yuya Odo	 桑野 詠真 Eishin Kuwano	 三浦 駿平 Shumpei Miura	 マリー・ダグラス Murray Douglas	 島澤 諭 Satoshi Hatazawa
 八木澤 龍翔 Ryuto Yagisawa	 シオネ・ブナ Stone Vuna	 ジャック・ライト Jack Wright	 ヴェティ・トゥポウ Vueli Tupou	 高橋 在人 Arito Takahashi	 杉原 立樹 Riki Sugihara	 庄司 拓馬 Takuma Shoji	 日本代表 7 Caps マルジーン・イラウア Maligne Ilaia	 ジョーンズリチャード剛 Richard Goh Jones	 齋藤 良明慈縁 Lamin Dieng Saito
 舟橋 諒将 Ryosuke Funahashi	 南アフリカ代表 40 Caps クワッガ・スミス Kwagga Smith	 日本代表 16 Caps 矢富 勇毅 Yuki Yatomi	 吉沢 文洋 Fumihiko Yoshizawa	 田上 稔 Minoru Tanoue	 岡崎 航大 Kodai Okazaki	 プリン・ホール Bryn Hall	 吉岡 義喜 Yoshiaki Yoshioka	 北村 瞬太郎 Shuntaro Kitamura	 加藤 大冴 Taiga Kato
 サム・グリーン Sam Greene	 家村 健太 Kenta Iemura	 日本代表 1 Cap 伊東 力 Chikara Ito	 吉良 友嘉 Tomokazu Kira	 矢富 洋則 Hironori Yatomi	 マロ・ツイタマ Maro Tuitama	 キーガン・ファリア Keagen Faria	 横 瑛人 Elito Maki	 杉本 海斗 Kaito Sugimoto	 石塚 弘章 Hiroaki Ishizuka
 トンガ代表 9 Caps ヴィリアミ・タヒトゥア Vilami Tahitua	 日本代表 2 Caps 鹿尾 貴太 Kanta Shikao	 ジョニー・ファウリ Johnny Fauuli	 伊藤 峻祐 Shunsuke Ito	 シルビアン・マフザ Sylvian Mahuza	 ハンター・リム Hunter Lim	 岡崎 颯馬 Soma Okazaki	 奥村 翔 Kakeru Okumura	 山口 楓斗 Futo Yamaguchi	 トンガ代表 5 Caps ニュージーランド代表 17 Caps チャールズ・ピウタウ Charles Pufuta



STAFF

強化部長兼ゼネラルマネジャー
アシスタントゼネラルマネジャー
アシスタントゼネラルマネジャー
選手リクルート
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ

山谷 拓志
串田 義和
佐藤 洋平
西内 勇人
堀川 隆延
長谷川 慎
有賀 剛
田村 義和
エドワード・ロビンソン

ヘッドS&Cコーチ
アシスタントS&Cコーチ
ヘッドアスレティックトレーナー
アスレティック&RTPトレーナー
アスレティックトレーナー
アスレティックトレーナー
アナリスト
通訳
通訳

井野川 基知
佐藤 大起
飯田 力
海江田 晃
荒谷 恭介
山口 裕之
瀬尾 勝太
吉水 奈翁
梶原 美央

ITコーディネーター
チームマネジャー/チーム広報
アシスタントマネジャー/通訳

松山 貴博
林 優子
赤松 魁

節	HOST/VISITOR	対戦日	対戦チーム	スコア	勝敗	会場	観客数(人)
第1節	VISITOR	2023.12.9 (土)	東芝ブレイブルーパス東京	30-43	●	味の素スタジアム(東京都)	
第2節	HOST	2023.12.17 (日)	コベルコ神戸スティーラーズ	26-30	●	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	12,831
第3節	VISITOR	2023.12.24 (日)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	23-19	○	ヨドコウ桜スタジアム(大阪府)	
第4節	VISITOR	2024.1.7 (日)	三重ホンダヒート	62-13	○	三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿 サッカー・ラグビー場(三重県)	
第5節	HOST	2024.1.13 (土)	東京サントリーサンゴリアス	25-29	●	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	6,465
第6節	HOST	2024.1.27 (土)	花園近鉄ライナーズ	50-12	○	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	5,255
第7節	VISITOR	2024.2.24 (土)	三菱重工相模原ダイナボアーズ	45-53	●	相模原ギオンスタジアム(神奈川県)	
第8節	HOST	2024.3.2 (土)	埼玉パナソニックワイルドナイツ	19-45	●	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	6,792
第9節	VISITOR	2024.3.9 (土)	横浜キャノンイーグルス	17-34	●	レゾナックドーム大分(大分県)	
第10節	VISITOR	2024.3.16 (土)	リコーブラックラムズ東京	36-29	○	秩父宮ラグビー場(東京都)	
第11節	HOST	2024.3.23 (土)	トヨタヴェルブリッツ	24-8	○	エコパスタジアム(静岡県袋井市)	5,074
第12節	HOST	2024.4.6 (土)	三重ホンダヒート	43-14	○	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	4,452
第13節	HOST	2024.4.13 (土)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	31-31	△	IAIスタジアム日本平(静岡県静岡市)	6,423
第14節	VISITOR	2024.4.19 (金)	東京サントリーサンゴリアス	31-31	△	秩父宮ラグビー場(東京都)	
第15節	VISITOR	2024.4.27 (土)	コベルコ神戸スティーラーズ	19-63	●	東大阪市花園ラグビー場(大阪府)	
第16節	HOST	2024.5.5 (日)	東芝ブレイブルーパス東京	20-59	●	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	13,814

静岡ブルーレヴズのホストスタジアム



ヤマハスタジアム(磐田市)

開幕戦・最終戦を含む計6試合を開催!毎試合様々なテーマの元、来場者全員が楽しめるイベントを実施。場外レヴニスタ広場やキッズパークでは多くのお客様で賑わいました。



エコパスタジアム(袋井市)

「シズオカ・ショック」の地、エコパスタジアムでも1試合を開催。『セカイクル!エンタメ・エコパ!』をテーマに、世界中のお祭りやグルメが集結しました。大雨の中、終始相手を圧倒して勝利を収めました!



IAIスタジアム日本平(静岡市)

「今日だけ青。ネンイチ・アイスタ。」をテーマに1試合を開催。この試合では多くのレヴニスタがスタンドを青く染め、後半の劇的な追い上げを後押ししてくれたことで、白熱した試合が展開されました。

-TEAM TOPICS-

2023年12月24日(日) 第3節

23-19 クボタスピアーズ
船橋・東京ベイ

クリスマス・イヴの決戦。前年王者の
クボタスピアーズ船橋・東京ベイに
敵地で劇的勝利!!



2024年4月6日(土) 第12節

43-14 三重ホンダヒート

YAMAHA 対 HONDA のバイク対決!
静岡ブルーレヴズとして
初の3連勝!!



-PLAYER TOPICS-



マロ・ツイタマ選手
JAPAN RUGBY LEAGUE ONE
2023-24シーズン
Div.1最多トライ



マロ・ツイタマ選手
JAPAN RUGBY LEAGUE ONE
2023-24シーズン
Div.1ベスト15



ジョーンズ リチャード 剛選手
JAPAN RUGBY LEAGUE ONE
2023-24シーズン
プレーヤーズ・チョイス・プライズ
Div.1ゴールデンショルダー賞



JAPAN RUGBY LEAGUE ONE
Div.1フェアプレー賞



JAPAN RUGBY LEAGUE ONE
2023-24シーズン
プレーヤーズ・チョイス・プライズ
Div.1社会貢献賞



茂原 隆由選手
日本代表選出

日本代表
2024年6月22日(土)
vs イングランド代表にて初出場

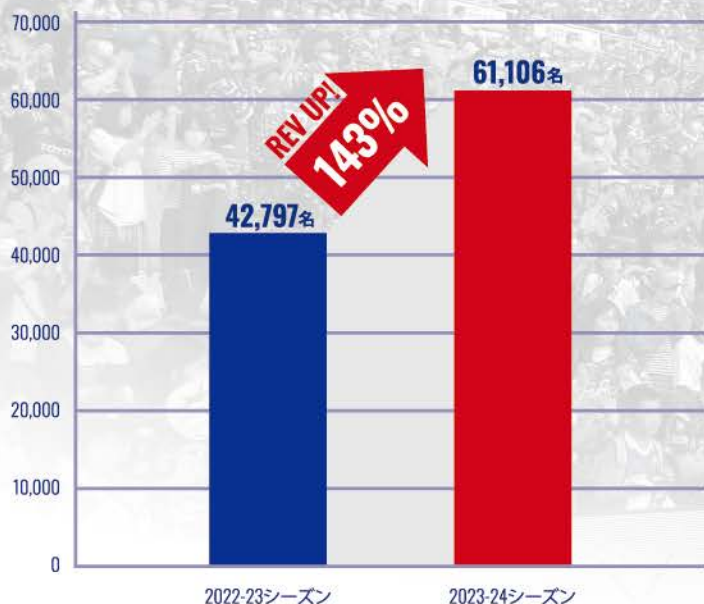


桑野 詠真選手
日本代表選出

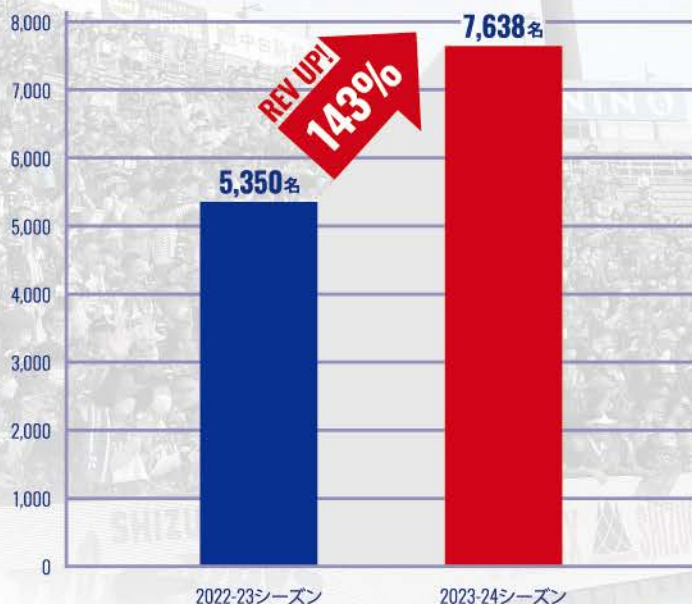
JAPANXV
2024年6月29日(土)
vs マオリ・オールブラックスにて初出場

ホストゲームの観客数の推移

▶▶ ホストゲーム総観客数：61,106名



▶▶ ホストゲーム平均観客数：7,638名



2024.5.5 レギュラーシーズン最終戦 来場者数

静岡ブルーレヴズ史上最多来場数!

13,814 名



ホストゲーム

毎試合、異なるテーマでエンターテインメントを追求した静岡ブルーレヴズらしいホストゲーム



ヤマハスタジアム・エコパスタジアム・IAIスタジアム日本平と3つのスタジアムで開催するホストゲームでは、毎試合異なるテーマで非日常空間を味わえるようなイベントや企画が満載。

ホスト開幕戦では航空自衛隊によるジェット機のフライバイキックオフセレモニーで開幕。他にもクラブ40周年を記念しレジェンド達が集結した特別OBマッチ。2台のバイクがスタジアムを駆け巡る試合。そして最終戦は大物アーティストがヤマハスタジアムで大熱狂のスペシャルパフォーマンスを披露するなど毎試合エンターテインメントをとことん追求してきました。今後も皆様に「心躍る感動」を提供してまいります！



静岡ブルーレヴズ
公式ボランティア

REVS CREW
SHIZUOKA BlueRevs official volunteer

公式ボランティア「REVS CREW」

静岡ブルーレヴズが掲げるミッション「革新と情熱で、心躍る最高の感動を作り出す」。その心躍る感動を生み出す原動力となり、そんな思いから「REVS CREW」は設立されました。従来の試合会場の雰囲気以上に、親しみやすく、前向きで明るいパワーを生み出しながら、観客の皆様へ感動を提供するだけでなく、何よりも参加するボランティア自身が楽しめるボランティア活動を提供していきたいと考えています。



地域との連携活動 (4月26日現在)

静岡県をはじめとする県内12の自治体とパートナーシップ協定を締結しています。

この協定に基づき、スポーツ振興や地域活性化など、「ALL FOR SHIZUOKA」を掲げるブルーレヴズならではの活動を多岐に渡って展開しています。

新規パートナー

沼津市

川根本町

焼津市

御殿場市



磐田市内中学2年生一斉観戦事業



袋井市生き物調査・どろんこラグビー



いわた大祭り遠州大名行列・舞車

SCRUM Action



事業活動を通じて、ブルーレヴズが重点テーマとして定めた社会課題の解決に貢献するプロジェクトです。

ラグビーにおいて「スクラムを制するチームが試合も制す」と言われるほど重要なものであり、ヤマハ発動機ジュビロ時代からチームのプレー哲学として大切にしてきた「スクラム」は、全員の方向性・意思統一が重要で、結束の象徴でもあります。我々が社会課題に取り組む重要性を理解し、強い意思を持って継続した取り組みとなるよう、プロジェクト名を「SCRUM Action」としました。

重点テーマ	重点課題	説明
Ecology	・脱プラスチック ・カーボンニュートラル	静岡県には日本一の山「富士山」があり、駿河湾に面し水資源など自然に恵まれた環境です。静岡県をホストエリアとして活動している静岡ブルーレヴズは、恵まれた自然を未来へ守っていく取組みが重要と考え、環境保全、気候変動への対策に向けて、より良い未来のために積極的に取り組んでいきます。
Food	・フードロス ・食育 ・地産地消	“食”はスポーツ選手に限らず、すべての人が健康でより良い生活をする上で重要な要素です。社会では十分な食を確保することができない課題もある一方、食品の廃棄が大量に発生している現実もあることから、食の大切さ、貴重な食品を無駄にしない取り組みを実施していきます。
Diversity	・国際交流 ・障がい者支援 ・LGBTQ	ラグビーは「多様性」のスポーツと言われています。「多様性」といった価値観を正しく理解し、多様性が認められる社会、また全ての人が安全に安心して暮らせる社会の実現に向け、日々の活動やホストゲームを活用した取り組みを実施していきます。

海外クラブとの提携

フランス1部リーグ「TOP14」に所属するスタッド・トゥールーズ(Stade Toulousain)と2022年から、ニュージーランドのベイ・オブ・プレントゥラグビーユニオンとは2023年からパートナーシップ協定を締結しています。

新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響によるグローバルな交流制限も緩和された2022年には両チームを訪問。トップミーティングを通じて、協定に基づく取組みの実施および更なる関係構築の継続を確認しました。

2023年7月には、奥村翔選手がスタッド・トゥールーズへ、舟橋諒選手がベイ・オブ・プレントゥラグビースターズへそれぞれ留学。今後も両クラブとの選手・スタッフの交流や、国際親善試合の開催、合同トレーニングの実施などを計画しています。



スタッド・トゥールーズ

1907年創設で、本拠地はフランス南西部に位置するトゥールーズ。フランス1部リーグの「TOP14」に所属し、フランス選手権優勝は21回、ヨーロッパチャンピオンズカップ優勝は5回(いずれも史上最多)を誇る強豪。



ベイ・オブ・プレントゥラグビーユニオン

ベイ・オブ・プレントゥ地方のラグビーユニオンで、男女トップチームの強化をはじめ、アンダーカテゴリーの育成、地域へのラグビー普及や地域貢献など、同地域における全てのラグビー活動を統括している。男子15人制のAll Blacks、女子15人制のBlack Fernsといったニュージーランド代表選手を数多く輩出し、現All Blacks主将のSam Caneも同ユニオンの出身。



SCRUM Action 実施報告



パラスポーツ体験会

静岡県、公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会と連携し、ホストゲームにて車いすバスケットボール、ボッチャの体験会を実施しました。



スポーツウェアの寄付

ヤマハ発動機と開始した社会貢献活動「Blue Ties(ブルータイズ)」の一環で、ヤマハクリーンウォーターシステムのメンテナンス時期に合わせて新興国の村落へ寄付するスポーツウェアを募りました。



フードドライブ

ホストゲームで寄付いただいた食品を、フードバンクふじのくに、社会福祉協議会などの団体を経て、支えを必要としている方々へ届けられます。

Revsキャラバン



静岡ブルーレヴズが自治体等と連携しながら主体的に行う普及活動を、「Revsキャラバン」と称して活動をしています。

2023年度の当活動は、株式会社ソミックマネジメントホールディングス様と不二化成株式会社様のご支援のもと実施しました。引き続き、ホストエリアである静岡県全域で積極的に活動し、心躍る最高のひと時を提供していきます。



2023年度活動実績
計209回、延べ11,670人

その他の普及活動

浜松市トップアスリート連携事業



トップアスリートを学校などに派遣し、体験教室や講演会を開催することで、スポーツを通して子供たちの前向きな意欲を育み、将来のスポーツ実施者の増加や次世代アスリートの育成を図っています。

2023年度活動実績
計6回、延べ411人

オリパラレガシー教育推進事業ほか



学校や民間企業等と連携しながら、ラグビーボールを使ったレクリエーションやタグラグビーを活用した社員研修などを実施しています。また元選手の経験を活かし、夢を持つ大切さを伝える「夢語り」なども行っています。

2023年度活動実績
計25回、延べ1,535人

ラグビースクール・アカデミー



ラグビースクール

ヤマハ発動機時代を含め20年以上の活動実績。2023年度は249名(2024年3月時点)の生徒が在籍し、年中から大人クラスまで幅広い年代の方がラグビーを楽しんでいます。ラグビーの技術だけでなく、ラグビーを通じた人間力の向上をサポートしています。



アカデミー

2022年4月より小学5年生～中学3年生を対象に活動開始。2023年度は49名(2024年3月時点)の生徒が在籍。高校、大学と次のステージにつながる基本的なスキルの習得や、静岡産業大学と連携し、定期的に成長のモニタリングを実施しながら体作りに取り組んでいます。



育成モデル

ラグビーを通して子どもの好奇心を広げ、幅広い年代に楽しさを知ってもらう「スクール」や、競技スキルを向上したいという思いを叶えるために元トップリーガーが全力でサポートする「アカデミー」を通して、世界と戦える人材を静岡から輩出していきます。

BlueRevs RFC SHIMIZU



静岡県立清水南高等学校・同中部との産学連携協定をもとに、【BlueRevs RFC SHIMIZU】を2023年4月に設立しました。清水南中部ラグビー部を地域クラブ化することで、県中部などのラグビー競技人口拡大に取り組みます。



女子ラグビーチーム「AZALEA SEVEN」との連携



静岡ブルーレヴズ株式会社は、2023年11月に一般社団法人アザレア・スポーツクラブのゴールドパートナーとなりました。これまで以上に連携を強化しながら、ラグビーの普及活動等を行い、静岡県ラグビーの発展に貢献していきます。



© SHIZUOKA BlueRevs

メディア露出

静岡県全域をホストエリアとして、県内外でのメディア露出が増加中



【メディア掲載実績】

静岡新聞、中日新聞、日本経済新聞、建通新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日刊スポーツ、スポーツ報知、スポーツニッポン、サンケイスポーツ、東京中日スポーツ、ラグビーマガジン、ラグビーマガジン、広報いわた、静岡ビジネスレポート、経済界、磐田商工会議所会報誌、静岡リビング新聞、清水パイプレス、ma-ne、ジュビロキッズ、NHK、SBS静岡放送、静岡朝日テレビ、テレビ静岡、静岡第一テレビ、K-MIXラジオ(Radio SHIZUOKA BlueRevs)、FM Haro!、CSAチャンネル ほか

SNSの取り組み

■各種SNSで静岡ブルーレヴズを広く世界に発信!

X(旧Twitter)、Facebook、Instagram、TikTokでは、チームの日常や試合の情報をお届けするのはもちろん、パートナー企業や地方自治体、県内の他スポーツクラブとインタラクティブに交流を行っています。



公式YouTubeチャンネルでは毎試合のハイライトや名物動画、「RevsCamera」、五郎丸CROの解説動画など公開中!
観て楽しいコンテンツです!



noteでは今之浦オフィスの社員・スタッフの想いやオフィシャルライターによる試合観戦記、選手自ら筆を執る記事まで多彩なコンテンツを用意しています。様々な視点から語られる静岡ブルーレヴズをぜひご覧ください。



静岡県内でのプロモーション活動

ホストゲーム開催前にはチラシやポスターを配布し、県民の皆様への告知を行っています。

また、駅構内や商業施設での装飾にご協力いただき、県内各地をレヴズブルーに染めることで静岡を盛り上げています。さらに、地域の皆様との交流の機会として、県内各地でビジターゲームのパブリックビューイングやオフィシャルグッズの販売をいただくことで地域から愛されるクラブへと着実に成長しています。



静岡鉄道 新静岡駅



イオンモール浜松志都呂



新静岡セノバ



JR掛川駅 これっしか処



パブリックビューイング



浜松駅でのチラシ配り活動



JR浜松駅



静鉄電車 車内

SNSフォロワー数



(2024年7月1日現在)

OFFICIAL FANCLUB CLUB REVS 会員数

(2024年5月6日時点)

2022-23 シーズン

18,696人

REV UP!
163%

2023-24 シーズン

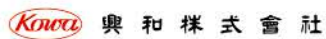
30,457人

2023-24 シーズン 静岡ブルーレヴズ オフィシャルパートナー

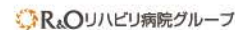
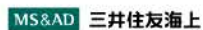
プラチナパートナー



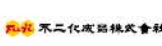
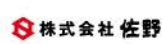
ダイヤモンドパートナー



ゴールドパートナー



シルバーパートナー



ブロンズパートナー

株式会社村松商店	株式会社ジェイ・ブラッカ	株式会社アイジーコンサルティング	石川建設株式会社
株式会社イトー	磐田化学工業株式会社	内田計器工業株式会社	うちやま呼吸器・アレルギークリニック
河津建設株式会社	木内建設株式会社	協和サンシンエンジニアリング株式会社	佐藤産業株式会社
株式会社三和製作所	株式会社CSA不動産	新東海製紙株式会社	須山建設株式会社
星光社印刷株式会社	清和海運株式会社	静和工業株式会社	中部電力株式会社
デイサービスアビリティ	株式会社トランスポートオオスギ	株式会社西伊豆プロジェクト	日進電機株式会社
株式会社マーシャルワールドジャパン	株式会社望月商事	株式会社ハケ代造園	株式会社グリーンワークス
株式会社tonokEn・株式会社ファンテリック			

メディアパートナー



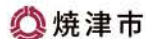
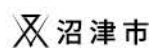
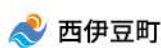
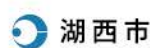
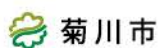
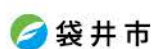
スクール/アカデミーパートナー

オフィシャルサプライヤー



CYBERDYNE株式会社	大塚製薬株式会社	はごろもフーズ株式会社	株式会社ニューハレックス	有限会社石井育種場
アントルボ	株式会社ビューティーキャラン	アグリッチジャパン株式会社	株式会社オリゼ	株式会社WEAVA

パートナーシップ協定締結 自治体



産学連携協定



海外パートナーシップ協定

静岡ブルーレヴズとのパートナーシップに関するお問い合わせは、下記よりお願いいたします。

メールアドレス: **partner@shizuoka-blurevs.com**



静岡ブルーレヴズ株式会社 会社概要

会社名	静岡ブルーレヴズ株式会社 (SHIZUOKA BlueRevs, Ltd.)
設立	2021年(令和3年)6月22日
資本金	1億円
株主	ヤマハ発動機株式会社(100%)
本社オフィス	〒438-0071 静岡県磐田市今之浦3-8-8
クラブハウス	〒438-0002 静岡県磐田市大久保891番地106
代表取締役社長	山谷 拓志
取締役	日高 祥博
取締役	橋本 満
社外取締役	鈴木 健一郎
社外取締役	和田 由佳子
従業員数	37名(2024年5月現在)
事業内容	ラグビーチームやラグビースクールの運営、 ホストゲーム興行他

お問い合わせ

静岡ブルーレヴズ株式会社 電話:0538-32-0206(平日10時~18時) メール: information@shizuoka-blurevs.com